

**処理計画書 記入要領**

**【第1面】**

提出年月日	提出年月日を記入してください。
提出者の住所	住所は都道府県名から記入してください。
提出者の氏名	代表者の氏名。法人の場合は法人名、代表者氏名。 ・製造業等の場合は、処理計画の作成単位である事業場または支店等を管理している代表者等(工場長、工場管理者、支店長など)で提出することもできます。 ・建設業等の場合は、処理計画の作成単位である支店等の代表者等(支店長など)とすることができます。
	※提出書類はインターネットにより公表しますので、押印せずに提出してください。
	※本報告書に係る連絡担当者の氏名や書類作成者名は計画書様式には記載せず、メール文や送付文等別紙に記載してください。
電話番号	提出者の電話番号を記入してください。
事業場の名称	<b>【製造業等の場合】</b> 上記事業場の名称を記入してください。 ※同一敷地内に関連会社の事業場があり、一体的に産業廃棄物の処理を行っている場合には、関連会社の事業場から生ずる産業廃棄物の処理を含めての記入でも可。
	<b>【建設業等の場合】</b> 区域内の作業場(現場)を総括的に管理している支店名などを記載してください。 ※建設工事等の排出事業者は、元請業者が該当します。
事業場の所在地	上記事業場の所在地を記入してください。
計画期間	処理計画の計画期間を記入してください。

**当該事業場において現に行っている事業に関する事項**

①事業の種類	日本標準産業分類の事業区分とコード(中分類)を記入してください。
②事業の規模	業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。 例えば、製造業の場合は製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合は元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合は病床数(前年度末時点)など。
③従業員数	当該事業場における従業員数を記入してください。 ※非正規雇用者を含めるかどうかは、各事業者のお考えで結構です。
④産業廃棄物の一連の処理の工程	その事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程を記入してください。(委託する場合は委託内容も記入してください。)

**【第2面】**

**産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項**

管理体制図	役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記入してください。 ※個人情報に該当する内容(社員の個人名等)は記入しないでください。
-------	---

**産業廃棄物の排出の抑制に関する事項**

①現状	産業廃棄物の種類ごとに前年度の排出量を記入してください。 ※「産業廃棄物の種類」は廃棄物処理法に基づく産業廃棄物の区分名称を参照してください。(第3面以降も同様)【燃えがら／汚泥／廃油／廃酸／廃アルカリ／廃プラスチック類／紙くず／木くず／繊維くず／動物性残さ／ゴムくず／金属くず／ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず／鋳さい／がれき類／動物系固形不要物／動物のふん尿／動物の死体／ばいじん／上記19種類の産業廃棄物を処分するために処理したもの(例えばコンクリート固型化物)】
	※産業廃棄物の種類が3つ以上ある場合は、別紙「産業廃棄物の種類と排出量」に記入してください。独自の別紙を作成でも可。(第3面以降も同様)
	※産業廃棄物の量を体積で把握している場合は、重量(トン)に換算してください。(第3面以降も同様)

実施した(実施予定)の取組について	取組内容をできるだけ具体的に記載してください。(第3面以降も同様)
-------------------	-----------------------------------

②計画	産業廃棄物の種類ごとに今年度の計画排出量を記入してください。
-----	--------------------------------

**産業廃棄物の分別に関する事項**

①現状	すでに分別している産業廃棄物の種類および取組内容について記入してください。
②計画	今年度分別する予定の産業廃棄物の種類および取組内容について記入してください。

**【第3面】**

**自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項**

「自ら再生利用を行った量」…「事業者自らが中間処理せず再生利用を行った量」と「事業者が自ら中間処理を行った後再生利用した量」を合わせた量

①現状	産業廃棄物の種類ごとに前年度の「自ら再生利用を行った産業廃棄物の量」を記入してください。
②計画	産業廃棄物の種類ごとに「自ら再生利用を行った産業廃棄物の量」の今年度の目標値を記入してください。

**自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項**

「自ら中間処理した量」…事業者自らが中間処理した産業廃棄物量

①現状	産業廃棄物の種類ごとに前年度の「自ら熱回収を行った産業廃棄物の量」を記入してください。
	産業廃棄物の種類ごとに前年度の「自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量」を記入してください。
②計画	産業廃棄物の種類ごとに「自ら熱回収を行った産業廃棄物の量」の今年度の目標値を記入してください。
	産業廃棄物の種類ごとに「自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量」の今年度の目標値を記入してください。
実施した(実施予定の)取組について	取組内容とともに <b>脱水や焼却等の中間処理の方法も記入してください。</b>

**【第4面】**

**自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項**

「自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量」…「事業者自らが中間処理せず埋立処分又は海洋投入処分した量」と「事業者自らが中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量」を合わせた量

①現状	産業廃棄物の種類ごとに前年度の「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量」を記入してください。
②計画	産業廃棄物の種類ごとに「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量」の今年度の目標値を記入してください。

**産業廃棄物の処理の委託に関する事項**

「処理委託量」…中間処理せず処理委託した量及び、中間処理後に処理委託した量

①現状	産業廃棄物の種類ごとに前年度の「全処理委託量」「優良認定処理業者への処理委託量」「再生利用業者への処理委託量」「認定熱回収業者への処理委託量」「認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」を記入してください。
-----	--

**【第5面】**

②計画	産業廃棄物の種類ごとに「全処理委託量」「優良認定処理業者への処理委託量」「再生利用業者への処理委託量」「認定熱回収業者への処理委託量」「認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」の今年度の目標値を記入してください。
	※「全処理委託量」と以下の4項目(「優良認定処理業者への処理委託量」「再生利用業者への処理委託量」「認定熱回収業者への処理委託量」「認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」)の合計が一致するわけではありません。4つの項目については、該当する場合にのみ記入してください。
	※優良認定処理業者…優良基準に適合する旨の都道府県知事・政令市町の認定を受けた産業廃棄物処理業者 産廃情報ネットで事業者を検索できるほか、当課HPでも事業者を確認いただけます。 ・産廃情報ネット: <a href="https://www.sanpainet.or.jp/">https://www.sanpainet.or.jp/</a> ・滋賀県循環社会推進課「優良産廃処理認定(確認)業者一覧」: <a href="https://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/sanpai/20110324ninteiseido.html">https://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/sanpai/20110324ninteiseido.html</a>
	※認定熱回収業者 平成26年3月1日現在、滋賀県が認定している業者はありません。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 〇〇 年 〇 月 〇 日

滋賀県知事 殿

インターネットにより公表するため、押印は不要です。

提出者

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号

本報告書に係る連絡担当者の氏名や書類作成者名は計画書様式には記載せず、メール文や送付文等別紙に記載してください。

氏名

〇〇建設 株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇△□-〇△□-〇△□□

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

〇〇建設株式会社 〇〇支店

事業場の所在地

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号

計画期間

令和〇〇年4月1日～令和〇〇年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類

06 総合工事業

②事業の規模

元請完成工事高〇〇〇万円

③従業員数

〇〇〇人

ここに書ききれない場合は、この欄に「別添【産業廃棄物の一連の処理工程】のとおり」等と記入し、別紙を添付してください。

④産業廃棄物の一連の処理の工程

- ・がれき→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化
- ・汚泥→再生処理業者に委託して再生路盤材として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添「管理体制図」のとおり

個人情報に該当する内容(社員の個人名等)は記入しないでください。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類が3つ以上ある場合は、別紙「産業廃棄物の種類と排出量」に記入してください。

【前年度(令和〇〇年度)実績】

産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」 のとおり	
排出量	t	t

①現状

(これまでに実施した取組)

- ・ 工法改善の検討(汚泥)
- ・ 材料搬入数量の適正管理により余材発生を抑える(木くず)

産業廃棄物の量を体積で把握している場合には「産業廃棄物の体積から重量への換算係数」を参照するなどして、重量(トン)に換算してください。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」 のとおり	
排出量	t	t

(今後実施する予定の取組)

- 上記に加え、
- ・ 廃棄物発生抑制を考慮した施行方法の採用。
  - ・ 資材や機器の無梱包化、実寸梱包化、再利用可能な梱包材の使用。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・ 木くず、がれき類について分別し、保管している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・ 上記に加え、混合物について分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

記入すべき事項がないときは「—」を記入してください。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t

(これまでに実施した取組)

脱水や焼却等の中間処理の方法も記入してください。

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 ○○ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」 のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・可能な限り再生利用業者への処理委託を行う。			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」 のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、優良認定処理業者から選定する。</li> <li>・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。</li> </ul>		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（      年度） 実績】	
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 <small>(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)</small>	80 t
	(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、今年度中に電子マニフェストに加入する予定。</li> </ul>		
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。